

当院に造影 CT をご依頼される先生方へのお願い

※ビグアライド系糖尿病薬(メルビン、メデット、グリコラン、ネルビス、トーワ、メリオン)を内服中の場合、休薬が必要となります。

いつも大変お世話になりまして誠にありがとうございます。

ビグアライド系糖尿病薬を飲んでいる方に CT でヨード造影剤を使用するとまれに腎機能が低下し、この糖尿病薬の排泄が遅れ、乳酸アシドーシスという危険な状態になることがあります。当院では、ビグアライド系薬を内服中の患者さまに造影 CT を行う場合は、検査当日とその後 2 日間(合計 3 日間)ビグアライド系薬の内服を休薬していただくことになりました。患者さまへの休薬のご説明をよろしくお願いいたします。

当日、内服の有無(内服中の場合)休薬できているかを確認させていただきます。もし、内服中で休薬できていない場合は、検査当日夕から翌々日の内服を止めていただくよう、当科から説明させていただきます。休薬が無理な場合や休薬を承諾いただけない場合には、単純 CT に変更することもございます。なにとぞご了承ください。なお、ビグアライド系以外の糖尿病薬は休薬の必要はございません。また、造影 MRI はビグアライド系薬の休薬は不要です。なにとぞご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

社会医療法人神鋼記念会
神鋼記念病院 放射線センター

造影 CT

検査日 20 年 月 日

確認者
事前

ヨード造影剤を用いた CT (造影 CT) 検査に関する問診書

ヨード造影剤を使用しても、ほとんどの場合、副作用は出ません。しかし、体質や病状により、まれに副作用が出る場合があります。検査をできるだけ安全に施行するため、下記の患者記載欄の質問にお答え下さい。

患者記載欄

一 つでも
造影剤は
使用でき
ません
『はい』
の場合、
原則と

- ① 以前にヨード造影剤を使った CT 検査を受けたことがありますか？ はい ・ いいえ
- ② ①で『はい』と答えた方へ、その時、副作用はありましたか？ はい ・ いいえ
- ③ ②で『はい』と答えた方へ、副作用の症状を○で囲んでください
(嘔吐・じんま疹・頭痛・ショック・腎機能障害・呼吸困難・意識障害・ほか [_____])
- ④ 過去 2 年以内に気管支喘息の発作を起こしたことがありますか？ はい ・ いいえ
- ⑤ 過去 2 年から 5 年の間に気管支喘息の発作を起こしたことがありますか？ はい ・ いいえ
- ⑥ 気管支喘息の治療中ですか？ はい ・ いいえ
- ⑦ 腎機能が悪いといわれていますか？ はい ・ いいえ
- ⑧ 女性の方へ。現在、妊娠している可能性はありますか？ はい ・ いいえ
- ⑨ 現在、糖尿病の薬を飲んでいますか？ はい ・ いいえ
- ⑩ 体重は何 kg ですか？ (不明な場合はおよその値を記載してください) [_____ kg]

CT 検査のヨード造影剤使用に関する同意書

このたび、ヨード造影剤を用いた造影 CT 検査の内容、必要性、危険性、合併症、後遺症などについて詳細な説明を受け了解しましたので、造影 CT 検査を受けることに同意します。なお、この検査を施行している間に、緊急にあるいは医学上の立場から検査の変更、または、緊急処置を行う必要が生じた場合には、医師が必要と認める処置を行うことに同意します (一度同意された場合でも、いつでも撤回することができます)。

患者記載欄

どちらか一方の□に
チェックしてください

造影剤を使用することに同意します

造影剤を使用することに同意しません

@病院名 院長殿 20 ____年 ____月 ____日 患者氏名 _____

(ご本人が未成年または署名できない場合) 保護者または代理人氏名 _____ (続柄 _____)

主治医記載欄

ビグアナイド系糖尿病薬剤 内服していない
 内服中であり、休薬の必要性について説明済み

ビグアナイド系糖尿病薬剤 メトホルミン; (商品名)メトグルコ・メディット・ジベトスなど、メトホルミンの合剤; (商品名)エクメット・イニシク・メアナ・メタクトなどを内服中の場合、検査当日とその後2日間(合計3日間)の休薬が必要。

造影検査の適応判断 リスクなしー造影検査実施可
 リスクありー主治医が静注して造影検査実施 (静注可能な曜日を依頼欄に記載)
 リスクありー造影検査実施不可 (単純検査のみ実施)

eGFR 値が 30 未満は原則造影不可。 検査予定日より 3 ヶ月以内の eGFR 値が 30 以上を確認 採血オーダー済み

造影検査について説明と問診を行い同意書の内容を確認しました。

主治医 _____

ヨード造影剤を用いた造影 CT 検査を受けられる患者さんへ

あなたが受けられる造影 CT 検査では、ヨード造影剤（薬品名 イオパミロン、イオパミドール、オムニパークなど）の注射が行われます。この説明書をお読みにになり、納得されましたら問診表に記入していただいたうえ、同意書に署名をしてください。ご不明な点は主治医や担当の放射線技師、看護師に質問してください。

● 造影剤を用いた造影検査の必要性

造影剤は画像検査で診断を容易にするために使用される検査用の薬剤です。今回の造影 CT 検査では、ヨード造影剤というヨウ素（ヨード）という物質を含む薬剤が使用されます。造影剤は血管（静脈）内に注射され、全身の血管や臓器に分布します。造影剤を使用することで病気の性質や血管や臓器の様子が鮮明に描出されるようになり、あなたの病気の状態をより正確に知ることができ、今後の治療に役立ちます。造影剤を使用しなくても CT 検査は行えますが、正しい検査結果を得られない場合があります。

● 造影剤投与による偶発症（一定の頻度で起こりうる合併症）

- ☆ 注射に際して、造影剤の皮下への漏れや末梢神経障害による痛みが起こることがあります。
- ☆ 軽い副作用として吐き気・動悸・頭痛・かゆみ・発疹などがみられます。これらの軽い副作用の起こる頻度は、およそ 50 人につき 1 人（約 2%）です。
- ☆ 重い副作用として呼吸困難・意識障害・血圧低下・ショック・腎機能障害・末梢神経障害による激しい痛みなどがみられます。このような重い副作用の起こる頻度は、およそ 1000 人につき 1 人（約 0.1%）です。これらの副作用を治療するために入院や手術が必要になることがあります。また後遺症が残る可能性があります。
- ☆ 非常にまれですが、病状・体質によってはおよそ 10～20 万人につき 1 人の頻度（約 0.0005～0.001%）で、死亡する場合があります。
- ☆ 副作用は注射後 30 分以内に現れる場合がほとんどですが、検査終了後 1 時間から数日の間にかゆみや発疹などが遅発性に生じることもあります。
- ☆ アレルギー歴、特に気管支喘息（ぜんそく）や造影剤の副作用歴がある場合には副作用の危険性が高くなります。

造影剤を注射された時には 1～2 分間ほど体が熱く感じる場合があります。この注射時の熱感
は造影剤が血管を刺激することで生じる正常な反応であり、一時的なもので副作用ではないの
で心配ありません。

● よくある質問

- ☆ なぜ造影剤を使用するのですか？
造影剤によってあなたの病気の状態をより正確に知ることができ、今後の治療に役立ちます。造影剤を使用しなくても CT 検査は行えますが、正しい検査結果を得られない場合があります。
- ☆ 造影剤をどれくらい使うのですか？どのように注射するのですか？
検査目的や患者さんの体重にあわせて使用量を調整しています。通常 100～150 mL です。
正確かつ高速に注入する必要があるため、機械を使って静脈から注入します。
- ☆ 注射された造影剤はどうなるのでしょうか？
注射された造影剤は 24 時間以内に全量が腎臓から尿中に排泄されます。
透析中の患者さんでは、透析によって除去されます。

☆ 造影剤が注射中に漏れたりしないのでしょうか？

機械を使って高速に造影剤を注入するために、造影剤が皮下の血管外に漏れ出す場合があります。漏れ出した造影剤の影響で注射した部位が腫れて痛みを伴うこともあります。通常、造影剤は時間とともに吸収されて症状もなくなりますので心配ありません。

漏れ出した造影剤の量が非常に多い場合には、処置が必要となることもあります。まれです。

☆ 検査前に食事の制限はあるのでしょうか？

腹部や骨盤部以外の部位の検査を受けられる患者さんには食事に制限はありません。

腹部や骨盤部の検査を受けられる患者さんは検査予定時刻の 4 時間前から食事を摂らないでください。ただし、少量の水やお茶などの水分は摂っていただいてもかまいません。ただし、牛乳、ジュースなどは正しい診断結果が得られなくなる可能性があるため摂らないでください。

☆ 常用薬は飲んでもよいのでしょうか？

常用薬はふだん通り飲んでください。

ただし、糖尿病の患者さんでは、

ビッグアナイド系糖尿病薬剤

メトホルミン；(商品名)メトグルコ・メディット・ジベトスなど、

メトホルミンの合剤；(商品名)エクメット・イニシク・メアナ・メタクトなど

を飲まれている場合、造影 CT 検査の当日とその後 2 日間(計 3 日間)、ビッグアナイド系糖尿病薬剤の内服を一時的に休薬する必要があります。該当する患者さんには主治医から説明があります。その他の糖尿病薬剤については休薬の必要はありません。

☆ 注射を受けた後、食事や入浴などに制限はあるのでしょうか？

注射の後、特に制限はありません。ふだん通りの生活をしていただいてもかまいません。尿中への造影剤の排泄を促進するため、水分を多めにお飲みください。

☆ 副作用はどのような場合に出やすくなるのでしょうか？

アレルギー体質の方では副作用が出やすくなります。とくに気管支喘息(ぜんそく)の患者さんでは、重篤な副作用が出やすいといわれています。

また、過去に造影剤を使用して副作用が出た患者さんでも副作用の危険性が高くなります。

気管支喘息や重篤な腎障害のある場合、過去に造影剤の副作用があった場合には、原則として造影剤の注射は行わないことになっています。ただし、これらの場合であっても、主治医が患者さんの治療上必要と判断した時には造影剤(副作用の出た薬剤とは異なる成分の薬剤を使用)の注射を行うことがあります。なお患者さんが造影剤の使用に同意されている場合であっても、検査を担当する放射線診断科医師の判断で造影剤を使わない場合もありますのでご了承ください。

☆ 副作用が出た場合の対応はどうなっていますか？

副作用の発生に備えて万全の体制を整えて、検査を行っています。検査中、看護師、放射線技師が常に観察しています。なにか異常がみられた場合には検査を中止し、薬剤の投与など最善の対処を行います。もしなにか異常を感じましたら、ためらわずにすぐにお知らせください。

☆ 外来の患者さんで帰宅途中・後に副作用の症状が出た場合にはどうすればいいのですか？

速やかに下記の

緊急連絡先

神鋼記念病院代表

078-261-6711

までご連絡ください。

診療時間内では放射線診断科担当医または主治医が、夜間や休日では当直医師が対応します。